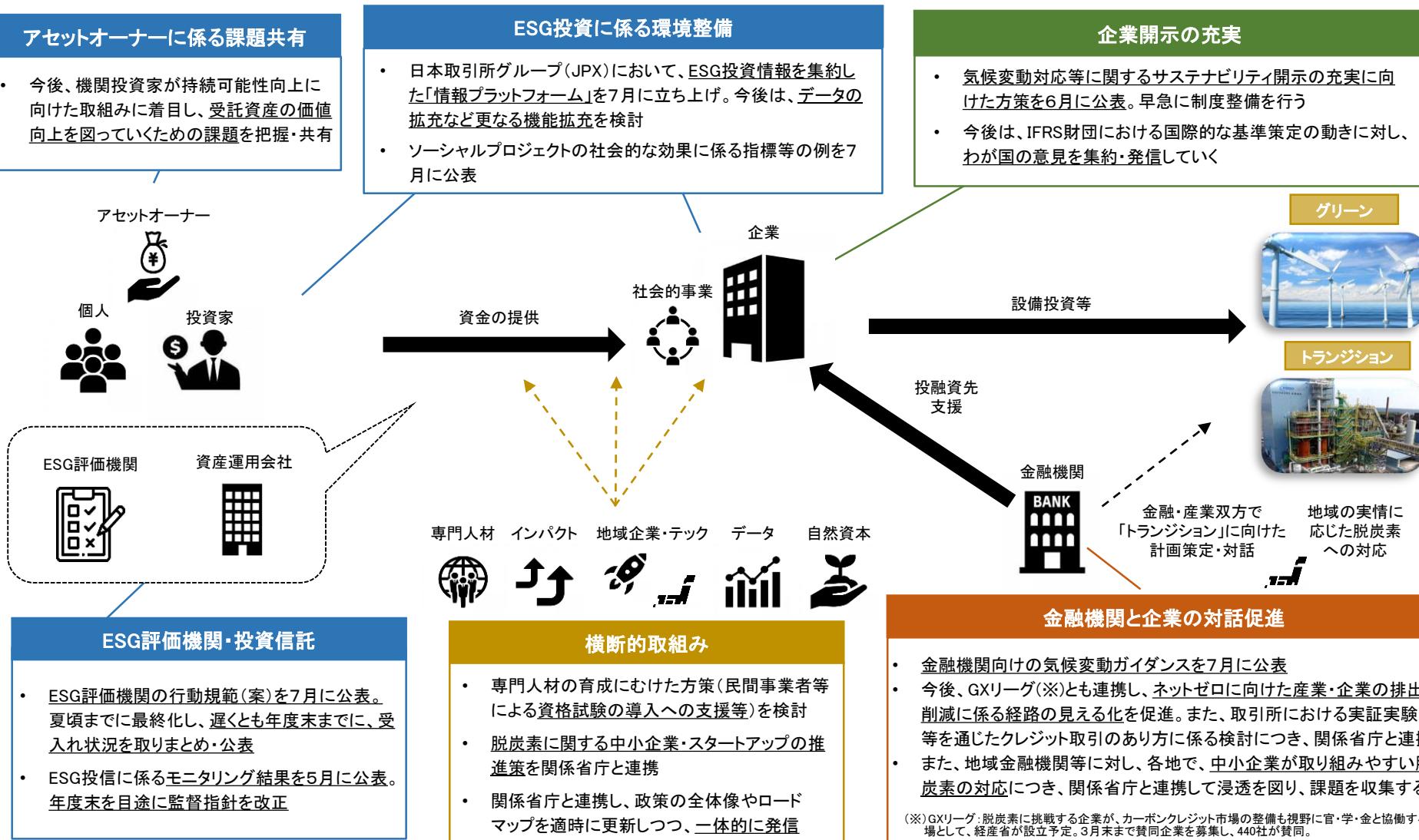


# サステナブルファイナンス有識者会議 第二次報告書 -持続可能な新しい社会を切り拓く金融システム-

- 金融庁サステナブルファイナンス有識者会議は、昨年6月に報告書を公表し、「企業開示の充実」、「市場機能の発揮」、「金融機関の投融資先支援とリスク管理」などのサステナブルファイナンスの推進策について、提言。
- 2022年7月、この1年の各施策の進捗状況のほか、国内外の動向等を踏まえた更なる課題と提言を発信するため、有識者会議としての第2弾の報告書を公表。



有識者会議として、今後も隨時、サステナブルファイナンスの施策の全体像・進捗状況等をフォローアップ・取りまとめ、発信

(※)GXリーグ: 脱炭素に挑戦する企業が、カーボンクレジット市場の整備も視野に官・学・金と協働する場として、経産省が設立予定。3月末まで賛同企業を募集し、440社が賛同。

# サステナブルファイナンスの取組みの全体像(2022事務年度)

開示の充実

2022年7~12月

2023年1月~6月

東証プライム市場上場企業に対して、TCFD又はそれと同等の国際的枠組みに基づく開示の質と量の充実

有価証券報告書に気候変動対応や人的資本等のサステナビリティ情報の記載欄を新設するため、22年内を目途に関係府令を改正し、23年3月期より適用開始

サステナビリティ情報に関する開示の好事例の収集・公表

IFRS財団におけるサステナビリティ開示の基準策定の動きに、SSBJを中心に国際的な意見発信を行うとともに、日本におけるサステナビリティ開示の具体的な内容を検討

市場機能の発揮

アセット  
オーナー

アセットオーナーが企業の持続可能性の向上に向けた取組みに着目し、受託資産の価値向上を図っていくための課題を把握・共有

ESG投信

資産運用会社に適切な態勢構築や開示の充実等を一層求めていくため、監督指針を改正

態勢構築や開示の充実等を促進

ESG  
評価機関

ESG評価機関等の行動規範を最終化し賛同を呼びかけ

受入れ状況を取りまとめ・公表

賛同の呼びかけ・モニタリングを継続  
開示等の好事例の収集・公表を検討

情報プラット  
フォーム

ESG債券等に関する情報プラット  
フォームを構築(7月)

プラットフォームの機能拡充(企業のESGデータ集約、プラットフォームの利便性向上、対  
象金融商品の拡大等)

ソーシャル・  
グリーンB

ソーシャルプロジェクトの社会的な効  
果を測定する指標集を公表(7月)  
グリーンボンド/サステナビリティ・リン  
ク・ボンドガイドラインの改訂(7月)

各ガイドラインの普及、ガイドラインを活用し、融資と合わせて、債券発行の促進・周知

シナリオ分析のパイロットエクササイズ結果公表(8月)

特定された課題について、金融機関と議論、シナリオ分析の手法・枠組みの継続的な改善

金融機関向けの気候変動ガイダンスを公表(7月)

金融機関の気候変動対応の取組状況や課題を把握

金融機関の移行計画の策定や企業との対話の活発化に向けた方策を議論

地域金融機関等に、地域で取り組みやすい脱炭素の施策を浸透、事例や課題を収集

金融  
機  
関  
の  
機  
能  
発  
揮

トランジション

GX経済移行債(仮称)等、GX投資のための10年ロードマップの策定・GXリーグ構想の実現

ロードマップの対象分野の拡大、ロードマップの排出経路を定量化した計量モデルの策定等

カーボンクレジット実証実験市場の開始・カーボンクレジット市場設計に向けた検討

インパクト

インパクト投資勉強会の「フェーズII」

検討会を設置し、投資によるインパクトの計測手法等について取りまとめ

中小・テック

気候変動の分野で創業に取り組む企業(クライメートテック企業)への投資の円滑化

データ

金融機関の気候関連リスク管理等に有用なデータの活用方法等を検討

専門人材

資格試験の創設等の推進、ESG投資に必要なスキルマップの作成、大学等での授業・教材提供

その他

自然資本について国際的議論も踏まえ、金融への影響や金融の役割を考察、自然災害リスクにおける保険の役割について議論

横  
断  
的  
施  
策